

マルシェで駅に活気を

JR伊予宮野下駅 地元中学生が企画



三間米おにぎりなどの出店でにぎわったマルシェ

愛媛と高知を結ぶJR予土線の存続や利用促進につなげようと、宇和島市の中学生らが企画したマルシェが15日、同市三間町宮野下のJR伊予宮野下駅であり、地元住民らがにぎやかなひとときを過ごした。

予土線の応援プロジェクトに取り組む市内の中学校6校の生徒会がつくる「宇和島KI-TAI」が、列車が来るまでの時間を楽しく過ごしてもらおうと主催した。

マルシェには各中学校と縁のある地元の高校も出店。吉田高のピザや北宇和高三間分校の三間米おにぎり、宇和島東高津島分校のちやんこ鍋など特色あるメニューが並んだ。午前10時に始まる

(長尾翼)